

# まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

自然・文化体験セミナー

## 「地球にやさしい春旅from屋久島～生命が満たされる島時間～」

この数十年で旅は、身近なものになり、美しい景色、異文化の体験、人との出会い、旅からたくさんのギフトを受けとることができました。

他方この数十年で、旅先は疲れてしまいました。景観の悪化、環境の破壊、ゆらぐ伝統文化。

本来もつ輝きを、もう一度取り戻したい。旅の醍醐味は、その地域をありのまま感じること。

この美しい屋久島が何十年後も、何百年後も、素晴らしい旅先であり続けるように。

自分の生命を満たしながら、屋久島の未来を想う旅に出かけませんか？

日時: 令和4年5月3日(火)～5月5日(木) 2泊3日

参加費: 21,000円(宿泊費、食事代、保険料など含む)

定員/対象: 先着20名/どなたでも

内容: 星空ウォーク、選択制トレッキング(前岳・太忠岳)、ビーチクリーン等

申込: メールまたは電話により4月24日(日)までに下記までお申し込みください。

屋久島環境文化研修センター TEL: 0997-46-2900

e-mail: kensyuu06@yakushima.jp 担当: 福元

## ふるさとセミナー 星空観測会 IN 永田小学校

日時: 令和4年4月28日(木) 19:30～21:00 場所: 永田小学校体育館

対象: 永田小学校及び一湊小学校の関係者(児童生徒は保護者同伴)

申込: 申込用紙は永田小学校、一湊小学校に配布しております。参加される方用紙を学校に提出してください。

参加費: 無料

内容: 星座や惑星のお話や実際に星空の観察を行い、最後に星空クイズを行います。

★ 星空クイズの正解者には景品がありますので奮ってご参加ください。

## 財団からのお知らせ

個人・法人から公益財団法人への寄付金・賛助金は、一定の要件を満たせば税の優遇措置を受けることができます。

屋久島環境文化財団が平成24(2012)年4月1日に公益財団法人へ移行したことにより、当財団に対する寄付金・賛助金はこの優遇措置を受けられるようになりました。

※屋久島ファンクラブの会費も寄付金として受け入れますので優遇措置の対象です。

詳しくはこちら⇒



休館日 ゴールデンウィーク(4/29(金)～5/5(木))は無休

村センター 4/4(月)、11(月)、18(月)、25(月) 5/9(月) 16(月) 23(月) 30(月)

研修センター 4/4(月)、11(月)、18(月)、25(月) 5/9(月) 16(月) 23(月) 30(月)

## 「人間もサルも」 インストラクター 小松 純哉(チャド)

先日、西部林道の調査に行きました。この場所は島内の県道で唯一、世界自然遺産に登録されている区域で、全長20km以上にもなります。そこにはヘゴやクワズイモ、オオタニワタリなどが生育し、まるでジュラシックパークの世界に入り込んだかのような場所です。残念ながら生息するのは恐竜ではなくシカやサルですが…。今回はそんな屋久島に住むサルについてのお話です。

昔々、屋久島は本土と陸続きでした。そこから海進によって島々に分かれ、この孤島に残されたサルたち。孤島での生活を余儀なくされたサルたちは、この環境で生きていくために体型を少しずつ変化させていきました。そうして生まれた屋久島の固有亜種がヤクシマザルなのです。

西部林道では必ずと言っていいほどヤクシマザルに出会うことができます。この付近は人が住んでおらず、ヤクシマザルが好む食べ物が多いので、生息しやすいようです。調査中に見かけたヤクシマザルの群れを観察していると、子どもたちがじゃれ合ったり家族で日向ぼっこをしながらあくびをしたり、カメラを向けるとポーズをとってくれたり？楽しくなってしまう、気づけば1時間ほどヤクシマザルを被写体に撮影していました。見れば見るほど人間もサルも同じ生き物なんだなあと再認識させられます。

そんなヤクシマザルの出産シーズンが春先から始まり、母親の陰からコソッと顔を覗かせる赤ちゃんの姿を見ることが出来ます。みなさんもぜひヤクシマザルの観察をしてみてください。きっと新たな発見があるはずですよ。



### 財団活動報告

令和4年3月19日(土)に屋久島世界自然遺産登録と、財団設立30周年記念に向けたイベントとして「春のむらせん特別上映会」を開催しました。

上映作品は、屋久島の自然も参考にして作られたといわれる「もののけ姫」で、来場者からは「大きなスクリーンで『もののけ姫』を見れて嬉しい」といった喜びの声も上がっていました。



### 本の紹介

## 「世界遺産 奄美」

著者 小野寺 浩

販売価格 税込1,980円

自然の"価値"とは何か

屋久島に次いで奄美を世界遺産に導いた元環境省自然環境局長の著者が、これまでの国立公園、世界自然遺産とは全く異なる奄美の独自性を語る。

さらに、国立公園法成立から90年が経過した日本の自然保護制度を分析。

今後の環境行政が進むべき道を展望する。

